

# 「りんご」を通してワクワクを! 人生の決断が 最高の仕事に!



あおもりワクワク倶楽部 Infinity 代表 清野 浩



## DATA

創業年月 平成29年8月  
所在地 弘前市若党町95-4  
E-Mail ntxtgt788@yahoo.co.jp  
Facebook 「あおもりワクワク倶楽部」

### ▶ 創業前はどこでどんな 仕事をしていたのですか?

高校卒業後に弘前から県外へ。医療機器メーカー等に勤務し、東京、大阪、神奈川などさまざまな地域で営業や工場での仕事をしていました。23年半という長い期間の勤務でしたが、正直、将来に向けての目標もなく、仕事が思い通りにいかなかったり、上司とぶつかったりと、仕事や職場に対するフラストレーションは募る一方で、ずっと自分のなかではもやもやとした日々を過ごしていましたね。

### ▶ 青森に戻ってきた経緯と理由は?

神奈川での工場勤務の際に、東日本大震災に遭遇。震災を通して多くの方が亡くなった中、「自分は生かされている」という思いが芽生え、これから何をすればよいのが真剣に考えるようになりました。社会人になってからずっと心の片隅にあった「青森への恩返し」。青森で育ててもらって、県外に出て青森県ではできないような経験をたくさん積んできたので、今ならその経験を活かして何らかの恩返し

ができるのかもという思いと、親と過ごすことも少なかった青森での時間を大切にしたいという思いから職場を退職。「青森に帰れば何かヒントがあるかもしれない!」その後、青森の企業に就職が決定し、Uターンを決意しました。

### ▶ 創業のきっかけ、現在の活動は?

Uターン後の勤務先で日々働く中で、自分に与えられている限られた時間を自分の意思で決め、人生を主体的に作っていきたいという思いが強くなり、1年2ヶ月で退社。そんなある日、たまたま求人誌に載っていた青森県の「あおもり産品販売促進専門員育成事業」に目がとまり応募。生まれて初めてりんご畑での収穫作業を行うことで、自然の中で働くことの気持ち良さや、仕事の喜びを実感。この研修を通し、青森県に日本一がたくさんあることを初めて知り、それまで持っていた青森に対するイメージが540度変わりました。それから何でも前向きに考えるようになり自分らしさ取り戻すことができました。8ヶ月間の研修の中では、りんごの収穫や販売、流通、資金面の勉強などに携わり、食の6次産業化プロデューサーの資格を取得。今までに経験したことのない仕事のやりがいや、「青森のために何かしたい!」という心の中の思いはさらに強まり、もぎたてりんごの販売、経営コンサルタントとして創業を決意しました。自分で決めてきた人生の中で最大最高の決断!そう。今は楽しんでいきたいと思います!

### ▶ これからの活動の夢や目標は 何ですか?

りんご産業にはいろいろな可能性があります。今までの様々な経験から、適正な価格、商品化、売り方の改善含む、農家さんの所得向上のアドバイスや情報発信などのサポートや人材育成、もぎたてりんごの収穫やイベントを通して、りんご畑に人が集まるような仕掛けづくり、オーナー制導入での関心づくりなど、農家とお客さんの距離が近くなるような展開を様々考えていきたいですね。私自身のみならずみなさまのワクワクがInfinity(無限大)に広がるよう頑張ります!



りんご畑で摘果作業をする清野さん

### ▶ 青森の好きなところ、魅力を 教えてください!

青森のブランド「りんご」。りんごそのもののすばらしさもそうですが、育てるまでの作業には農家のみなさんへの「感謝」というストーリーが隠れています。また、この仕事を通して私を応援し

て下さるいろんなみなさんへの感謝。「人」は青森の魅力でもありますね。あと、青森の温泉もすばらしいですね。

### ▶ 青森への「Uターン創業」を考えて いる方へメッセージをお願いします!

まずは自分がどうありたいのかを考えることが大事。私自身仕事をしてみて会社や組織に合わないことを知りました。自分で決めた創業。やらなくて後悔するよりはやってみた方がいいと、今は心から感じています。また、青森県の事業に参加して、仲間が増えたことも心の支えであり、そのネットワークのおかげで今日があります。様々な人との出会いを大切にしてほしいと思います。



清野さんが手伝いしている板柳町のりんご畑